

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年6月28日 (2018.6.28)

【公表番号】特表2017-520527(P2017-520527A)

【公表日】平成29年7月27日 (2017.7.27)

【年通号数】公開・登録公報2017-028

【出願番号】特願2016-567824(P2016-567824)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 K 31/416 (2006.01)

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 49/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 27/02

A 6 1 K 31/416

A 6 1 K 45/06

A 6 1 P 3/10

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 49/00

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月14日 (2018.5.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

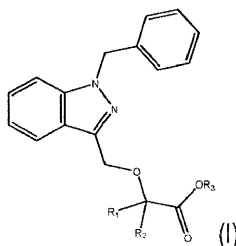
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

眼への投与を介して、対象の糖尿病性眼疾患の治療に用いる医薬組成物であって、式 I

【化 1】



の化合物（式中、各 R_1 および R_2 が、独立して、Hまたは $C_1 \sim C_6$ アルキルであり、かつ R_3 がHまたは $C_1 \sim C_6$ アルキルである。）またはその薬学的に許容可能な塩の治療有効量を含む、医薬組成物。

【請求項 2】

前記化合物がビンダリットである、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

前記糖尿病性眼疾患が、糖尿病性網膜症または糖尿病性黄斑浮腫（DME）である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

前記糖尿病性眼疾患が、白内障または緑内障である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

前記対象は、1 型または 2 型の糖尿病を有する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

前記対象は、正常レベルを超える血中グルコースレベルを有する、請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

前記対象の眼の細胞における核への NF κ B の転位を低減する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

高血糖細胞における細胞ストレスを正常にする、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

前記対象の Ccl2、Ccrp、Icam1、および Vcam1 のうちの一つ以上の発現を減少させる、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

前記医薬組成物は、さらに一つ以上の追加的な治療剤を含む、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

前記一つ以上の追加的な治療剤は、抗 VEGF 剤、ACE 阻害剤、PPAR- γ アゴニスト若しくは部分的なアゴニスト、レニン阻害剤、ステロイド、オートファジーを調節する薬剤、セマピモド、MIF 阻害剤、CCR2 阻害剤、CKR-28、2-チオイミダゾール、CAS 445479-97-0、CCX140、クロドロン酸、クロドロネートリポソーム製剤、および塩化ガドリニウムから選択される、請求項 10 に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

前記化合物は眼の投与のために製剤化される、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

前記眼の投与は、硝子体内または眼球内の投与である、請求項 12 に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

前記化合物は、制御された放出または徐放のために製剤化される、請求項 13 に記載の医薬組成物。